



くらもとたかふみ
藏本隆文議員



7月豪雨災害の検証 被害の大きい北川地区を例にあげて

議員 市の洪水ハザードマップには「2日間の総雨量225ミリ。この大雨は100年に一度起こることを想定しています」と書いてあるが、今回の雨量は363ミリであった。被害の原因を専門家に検証してもらうべきではないか。

建設部長 岡山県にお願いをしながら、市も勉強してまいりたい。

議員 尾坂川が小田川に流れ込み、北川は水の逃げ場がない。導流堤の要望を再度していただきたい。

副市長 県に導流堤を設置し、スムーズに水が流れる構造になるよう要望したい。

議員 この度の災害は、立木と土砂の堆積も相当起因していると考え

えられる。県が伐採を少しずつ行っているが、市と協働で行うふるさとの川リフレッシュ事業がある」と聞く。こうした事業も利用しながら県へ要望していただけないか。

建設部長 この事業は市の負担もかかるが、こうしたものも活用しながら取り組んでいきたい。

議員 避難指示等の防災無線の声は聞こえない。甲高い音を出すなどの対応はできないのか。

危機管理部長 サイレン音を流してから放送するよう運用を変えていきたい。

議員 今日の質問を、今後の検証、システム作りに生かしていただきたい。



うまこしゆうせい
馬越裕正議員



目指せ「だれひとり取り残さない笠岡」

議員 SDGs(エスディージーズ)とは持続可能な開発目標のことである。持続可能な開発(SD)とは将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発のことである。笠岡市の取り組みをたずねる。

政策部長 笠岡市では、昨年度に策定した第7次総合計画において、この持続可能な開発の理念を反映した形になっている。

議員 教育の分野でも、笠岡市はESD(持続発展教育)という言葉で、何年も前から頑張っている」と聞くが、現状をたずねる。

教育長 平成26年度ぐらいから、特に中学校を中心として取り組んできた。具体的には、環境や平和、

人権などに関する取り組みを各教科や道徳、総合的な学習の時間に取り扱ってきた。現在は、どの学校においてもこの視点を取り入れた取り組みをしている。

議員 SDGsは、まだまだ周知されていないと思うが、今後の取り組みについてたずねる。

副市長 この秋につくる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂にも、考え方には反映させたいと考えている。

